自治会フォーラムを踏まえた提言までのロードマップ

令和8年度以降の展開

【１】自治会フォーラムで出された意見

○意見を資料として全て、検討会に提示する。【資料１～資料４】

○フォーラムの意見を踏まえて提言書に反映していただく。

【２】会議日程（案）

第９〜１１回検討会（９０分×３回）の概要

**◆ 第９回：提言書構成案と連携要素の検討**

○自治会フォーラムについての報告、総括（会議録、ダイジェスト、グループ発表）

○今後の３回の検討会の展開案について説明

○提言書草案ver.2（箇条書き形式、自治組織向け草案と市役所向け草案の位置付け）について説明。提言書に求められる構成・形式・体裁について説明。（ここまで２０分）

○第９回のグループワーク内容説明とグループワーク（５５分）

　　グループ分けは１防災、２ごみや福祉などのシステムについて、３若者に選ばれる　の3グループによる）

全員で、提言書草案全体について検討していただく。

（入れた方がいい要素、重要度が高い項目、強調した方がいい事など）

○グループ発表、講評（１５分）

**◆ 第１０回：提言書草案ver.2のレビューと対立意見調整**

○第９回検討結果を踏まえた提言書草案ver.3、全構成について説明

○提言書草案ver.3を分割し、箇所ごとに検討を行う。（１防災、２ごみや福祉などのシステムについて、３若者に選ばれる　の3グループによる）

○グループ発表・講評

**◆ 第１１回：提言書最終確認（予定）**

○最終回　全体会で内容点検。最終調整

○「作業部会（仮称）」構想や今後の関わり方についての希望聴取、意見カード配布

※上記内容について白戸先生と８／２８に打ち合わせさせていただきました。

【３】提言後の展開、市の施策について

### １． モデル事業（令和８年度から）サンセット方式

・提言書に基づく試行的実践の場として、３団体選出。全団体に参加を募り選出。

・採択条件：提言に沿った「組織の見直し」「新しい自治の取組」等

Ex.）地域の教科書づくり、人口ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝによる地域のデザインなど
・補助金：１件あたり１０万円
・目的：地域ごとの多様な実践と先進事例の蓄積。他地域への波及。

### ２．集落支援員制度の導入検討＿令和８年度調査研究/令和○年度実装目標

・令和８年度中に、支援員制度のあり方検討・制度設計
　- 職務内容、配置モデル、採用・育成方法などを検討
・伴走支援型の設計とする。他市町村の例（伊那市・南箕輪村・箕輪町）と比較
・提言書の制度提案との連動性を高める

### ３．ＩＣＴ活用モデル（令和７年度地域回覧板の実証実験～）

・エコーシティ駒ヶ岳のデータ放送（ＪＣスマート）を使った実証実験
・令和７年度中、実証実験にアンケート等で利便性・満足度等を評価
・結果を踏まえて、令和８年度に他システムとの比較・検討へ

### ４．検討会→作業部会（仮称）化（令和８年度〜）

・提言書提出後、在り方検討会を要綱改正のうえ「作業部会」（仮称）に移行
・目的：これまで得られた知見の継承・モデル事業・支援制度への伴走実装主体に
・任期：原則３年（伴走支援事業が一区切りするまでのサンセット方式）